

2023 - 24 Governor's Monthly Letter

2023.12
Vol.6



CONTENTS

- | | | | |
|----|-------------------------|----|-----------------------|
| 2 | ガバナーメッセージ | 16 | 行事予定（12・1月） |
| 3 | 地区大会お礼とご報告 | 17 | 会員数報告 |
| 10 | 委員会報告 | 18 | R財団・米山記念奨学会寄付者一覧・会員異動 |
| 13 | RI2025年規定審議会（オンライン会合）報告 | | |
| 15 | 小矢部ロータリークラブ創立50周年記念式典 | | |



国際ロータリー第2610地区 2023-24年度 ガバナーメッセージ

原 勉 (白山RC)



7月11日富山RCから始まったガバナー公式訪問、大変暑い中随行していただいた地区幹事・筆頭副幹事・副幹事の皆様方には、大変ご苦勞をおかけし改めてお礼申し上げます。

今年は特に猛暑が続きましたが、訪問先のクラブの皆様からは温かく迎えていただきました。各クラブいろいろ、それぞれの考え、方針があり、自分自身も随分と参考に成ることが多々ありました。また、クラブ運営に関して言えば、多くのクラブから楽しいロータリー・居心地の良いクラブという声がたくさん聞こえました。そしてロータリー財団のグローバル補助金の申請と、実施できる時期のタイムラグについて、ポリオ根絶活動をいつまで続ければ良いのかとの質問等、そして今年度に発足したDEIについても意見交換しました。

11月9日予定通りに64クラブ訪問を無事に終えることができましたこと、そして訪問時にチャリティーランチをお願いしましたところ、全クラブご協力をいただきました。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

公式訪問を終え他地区の地区大会（第2620地区・第2600地区・第2630地区）に参加してまいりました。各地区とも共通していたことはやはりポリオ根絶に対する講演、青少年のパフォーマンスを取り入れたオープニングと、その地区の特色を生かした大会を開催され大変楽しく参加し友情を深めてまいりました。

11月19日～22日まで神戸においてロータリー研究会に参加してきました。ポリオ根絶活動の各地区の行事・地域における公共イメージ等の発表、そしてガバナー会の会議・国際大会（シンガポール）への参加のお願いと説明等聞いてまいりました。この神戸でも他地区の多くの仲間が増え、大変楽しく参加してまいりました。

いよいよ師走、厳しい北陸の冬の到来です。健康に留意されよい年をお迎えください。



ゴードン・マッキナリー RI 会長



講師の千玄室氏

原ガバナーの地区大会のテーマは「ロータリーの魅力を広めよう」
そこで大会の重点項目を2つに絞り、

1.吉岡医師の基調講演

吉岡医師は、生活環境が厳しく政情が不安定な国、ミャンマーに1995年に単身入国し無償医療支援活動を開始

小児疾患の治療、家族の窮状、重篤な子供達に向かい合ってきた経験やエピソードの話、スクリーンでの医師・看護師・スタッフの緊張感が伝わる医療手術現場のDV映像等に涙、涙。

会員やその家族、医療従事者、教育関係者等多くの方が吉岡医師の講演に感動し、涙腺を緩ませていました。

途上国医療の未来への展望のお話では、2004年「ジャパンハート」を設立し海外の医療支援体制の組織を立ち上げる一方、国内でのへき地・離島への医療者派遣や心の医療も開始しました。

吉岡医師は現在も年間3分の2を海外の医療活動に従事しておられます。



2.野々市市当局等と協調

吉岡医師の講演は、社会・学校教育に役立つ内容であり、市・教育委員会・学校当局の協力もあり、式典後のRC会員の親睦、教育関係者、米山奨学生、医療を目指す学生等の交流の場としての大懇親会を、隣接する野々市小学校体育館を会場にお借りして開催しました。

まさに地域・行政当局等と一体となった大会運営 でした。

*以前、全国椿サミットの交流会場として利用実績あり。

吉岡先生のお人柄に触れて直接話をしてみたい等、参加予想人数を大きく超えテーブルの配席等でご不便をおかけしましたが、とても賑やかな交流会となりました。

ロータリーの奉仕活動を地域住民や未来を担う若者等にも知って頂き「ロータリーの魅力を広めよう」を实践できた地区大会でした。

国際ロータリー第2610地区2023-24年度地区大会は2023年10月21日(土)、22日(日)に野々市市文化会館フォルテを主会場として開催されました。国際ロータリー会長ゴードン・マッキナリー様代理の丸尾研一様ご夫妻並びにご来賓の皆様のご臨席を賜り、そして地区外の特別出席者の皆様方、第2610地区の1000名を超える会員の皆様にご参加いただきましたこと、ホストクラブを代表して心より感謝申し上げます。

第1日目の指導者育成セミナーでは、ご講演をいただいた講師の服部陽子様、神野正博様、そして報告をしていただいた小山英一様、青山和也様本当にわかり易い内容で、DEIやロータリーの活動がより理解できたのではないのでしょうか。

第2日目は、ジャパンハート最高顧問で小児外科医吉岡秀人先生に「目の前のひとりの生まれてきて良かったを、日本の医療から」、副題「途上国医療現場の子どもたちの記憶～」のご講演をいただきました。職業奉仕とは何かを教えられた感動するご講演でした。感銘を受けられた多くの方からたくさんのご寄付があり、皆様のお気持ちに感謝申し上げます。

今回の地区大会はゴードン・マッキナリーRI会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」に、そして原ガバナーの地区活動方針「ロータリーの魅力を広めよう」に合致した大会であったと思います。

最後に野々市市での開催で公共交通ではご参加が難しい中、多くの皆様のご参加に感謝申し上げます。野々市RCは、金沢国際ホテルでの晚餐会を開催し、野々市市のご協力のもと市の特産品の販売や県立野々市明倫高校の吹奏楽演奏、そして野々市市立野々市小学校の体育館を使用させて頂いての大懇親会等、出来る限りの地区大会になったと自負しております。私たちにとって良い経験ができました。尚、当日は何かと混雑に取り紛れ不行き届きがございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。開催にあたりご協力をいただいた皆様、関係各位に重ねて感謝申し上げます。

地区大会のお礼とご報告

地区幹事 宮本 哲一 (白山RC)

7月の二週目からいよいよ原ガバナーの公式訪問が始まりました。

地区大会までには公式訪問も終了したく、連日30度を超える猛暑日が2か月続く中、4クラブを残し60クラブの訪問を終えることができました。

10月21日～22日 地区大会 原ガバナーの一番大きな舞台です。

訪問の際、国際ロータリー会長、ゴードン・マツキナリー氏のテーマは「世界に希望を生み出そう」です。

また、原ガバナーは「ロータリーの魅力を広めよう」と訴えてきました。そのテーマに沿って、地区大会を迎えることができました。ホストは野々市RCにお願いしました。

また、広報隊 (PR) は、連日各クラブへ訪問し、出席者登録を呼びかけ多くの登録を得ました。

大会1日目、13時から、登録委員会、信任状委員会、選挙委員会、大会決議委員会の4委員会が開催され、その後指導者育成セミナーに入りました。

今回の目玉は、講師としてお呼びした国際ロータリー研修リーダー 服部陽子氏による「DEIからクラブ活性化へ」です。

その前に、ガバナーノミニーの小山英一氏による「DEI報告」として、地区の委員会の現状を詳しくお話をさせて頂きました。このDEIは、原ガバナーの年度、新たに研究委員会としてスタートしております。

【指導者育成セミナー】

開会点鐘・ガバナー挨拶



ガバナー
原勉 (白山RC)

RI会長代理挨拶



RI会長代理
丸尾研一 (神戸西神RC)

地区研修リーダー挨拶



地区研修リーダー
松本耕作 (金沢RC)

DEI報告



ガバナーノミニー
小山英一 (小松東RC)

ロータリー講演1



RIラーニングファシリテーター
(RI研修リーダー)
RIシンガポール国際大会推進チーム 委員
服部陽子 (東京広尾RC)

ロータリー講演2



RI第2地域公共
イメージコーディネーター
神野正博 (七尾RC)

ポリオ根絶活動報告



地区ロータリー財団委員長 青山和也 (富山みらいRC)



【RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 金沢国際ホテル】



地区大会のお礼とご報告

地区幹事 **宮本 哲一** (白山RC)

大会2日目はジャパンハート創設者で最高顧問の小児外科医 吉岡秀人氏による講演です。カンボジアやミャンマーにおける海外での医療活動を紹介されました。

「すべての人が、生まれてきて良かったと思える世界を実現する」

「医療の届かないところに医療を届ける」

「一人ひとりの人生と向き合い、心を救うこと」を続けます。

沢山の方の感動を頂きました。

【本会議 I】

開会・オープニングアトラクション



石川県立野々市明倫高等学校

記念講演



ジャパンハート創設者・最高顧問
小児外科医 吉岡秀人様

学生とのパネルディスカッション



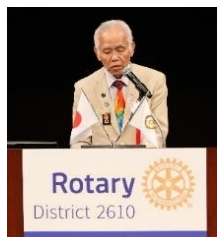
吉岡秀人様・学生4名

ホストクラブ会長挨拶



ホストクラブ会長
新保良介 (野々市RC)

ガバナー挨拶・現状報告



ガバナー 原勉

来賓祝辞



石川県知事 馳浩様代理
石川県副知事 徳田博様



野々市市長 栗貴章様

RI会長代理・現状報告



RI会長代理 丸尾研一

4委員会報告・大会決議報告・採択



地区幹事 宮本哲一 (白山RC)

地区大会のお礼とご報告

地区幹事 **宮本 哲一** (白山RC)

【紹介・活動報告】

地区米山記念奨学生



米山記念奨学会委員会委員長
嶋田登 (小矢部RC)

地区国際青少年交換学生



国際青少年交換委員会委員長
安川弘哲 (富山中RC)

インターアクトクラブ



インターアクト委員会委員長
吉谷奈艶子 (高岡北RC)

ローターアクトクラブ



地区ローターアクトクラブ
代表エレクト・クラブ会長
和田康佑 (金沢東RAC)

記念品贈呈



ガバナーエレクト挨拶



ガバナーエレクト
大橋聡司 (宇奈月RC)

次期ホストクラブ挨拶



次期大会実行委員長
平野明 (黒部中央RC)

大会実行委員長挨拶



大会実行委員長
本田英夫 (野々市RC)

大懇親会は野々市小学校の体育館をお借りしました。

地区大会のホストを引き受けて頂いた、野々市RC、本田実行委員長を始め役員の皆様や、大会を盛り上げて頂いた多くの関係者に心より感謝申し上げ、お礼の言葉といたします。

ありがとうございました。

【大懇親会】



ポリオプラス基金募金額の ご報告とお礼

ロータリー財団委員会 委員長 **青山 和也**
ポリオプラス小委員会 委員長 **石瀬 貴昭**

2023年10月21日(土)、22日(日)に開催されました地区大会において、ポリオプラス基金への募金活動を実施しました。募金総額は以下の通りで、地区よりポリオプラス基金へ寄付いたします。

募金総額：153,260円

当日は、多くの皆様にご協力いただきました。心より御礼申し上げます。
引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2610地区2023 - 24年度地区大会が多くのロータリアンの参加を得て、盛況のうちに終えることができましたことを大変喜ばしく存じます。

本大会の準備には大変なご苦勞があったことと拝察いたしますが、本田英夫地区大会実行委員長、新保良介会長をはじめとするホストクラブの野々市ロータリークラブの皆様のご努力により、ホスピタリティ溢れる素晴らしい地区大会となりました。これは、大会関係者が一致団結して、原勉ガバナー年度を大いに盛り立てようとしてご尽力いただいた賜物だと思います。

小生はガバナーエレクトとして2日間の大会に臨みましたが、微に入り細に入りの今回の大会運営は2024 - 25年度地区大会に向けて大いに参考になりました。

一日目の指導者育成セミナーは2題のご講演とDEI研究委員会とポリオ根絶活動事業の報告がありました。いずれのテーマも時宜を得たものであり、講師の卓越したプレゼンテーションにより深い学びを得ることができました。二日目の吉岡秀人氏の記念講演は高潔な志の活動に多くの聴講者が感涙を流したとても素晴らしいお話でした。ちなみに、小生はミャンマーにおいて事業を行っていることもあり、吉岡先生率いる国際医療NGOジャパンハートの活動に微力ながらご支援させていただくことになりました。こうしたご縁をいただいたことにも感謝したいと思います。

また、本会議ではガバナーエレクトとしてご挨拶をさせていただきました。ガバナー就任に向けての抱負をお伝えする機会をいただき、改めて身の引き締まる思いがいたしました。

2024 - 25年度地区大会は、例年の時期と異なり2025年3月15日(土)、16日(日)に富山県黒部市にて開催いたします。黒部中央ロータリークラブをホストクラブ、その他の富山第1グループのロータリークラブをコ・ホストクラブとしてすでに入念に準備を進めているところですが、必ずや皆様のご期待に添う地区大会になるものと思っております。

今回の地区大会を契機として、第2610地区のロータリー活動がますます発展することをご祈念するとともに、関係各位に深甚なる敬意と感謝を重ねて申し上げて地区大会の所感といたします。

「ロータリーの魅力を広げよう」原ガバナー年度の地区大会が、R I 会長代理丸尾研一様、パートナー正子様をお迎えし、盛大に開催されました。準備・運営・お世話をしてくださったホスト野々市ロータリークラブの皆様はじめ、コ・ホスト白山・白山石川ロータリークラブの皆様に、心より御礼を申し上げます。また、64クラブ各地のロータリアンの皆様には、学び多き2日間になったのではないかと存じます。

1日目の指導者育成セミナーでは、国際ロータリー研修リーダーの、服部陽子様「D E I からクラブ活性化へ」のご講演をいただき、D E I とは何か、D E I がクラブ活性化に果たす役割についてなど、大変わかりやすくお話いただきました。また、国際ロータリー第2地域ロータリー公共イメージコーディネーターの神野正博様には、「ロータリアンの約束と誇り」と題してご講演をいただき、なぜ、ロータリーに入会したのだろうか、ロータリーの志とは？など、参加者が自らに問いかける、学びの時間をいただきました。キーワードは「志 Together みんなで インクルーシブなクラブ」

指導者育成セミナーでは、私自身も本年度創設されたD E I 研究委員会の委員長として、活動報告をさせていただき、貴重な体験となりました。今後も・・・・・・・・

Dだれもが E笑顔で I居心地の良いクラブ（やりがいのある2610地区）
を実現するために、皆さんと共に、委員会活動を積み重ねて参りたいと思います。

2日目、ジャパンハート最高顧問・小児科医 吉岡秀人先生の基調講演には、心を打たれました。「医療の届かない子どもたちに 手の届くものとする」という志が、活動の土台となり、劣悪な医療環境の中、患者の子どもたちと向き合い、今もこれからも活動を継続されるお姿、まさにロータリーの職業奉仕そのものだと感じました。是非ともこの思いは、それぞれのクラブの中でも大切に育て、「私たちに何ができるだろうか」と、改めて考えていけたらと思います。

結びになりますが、素晴らしい2日間の地区大会の企画・運営・実施内容は、まさに原ガバナーを中心にしての「チームワーク」と感じました。2年後の私たちも、そのカギを引き継いでいけますよう、原ガバナー年度・大橋ガバナー年度にご協力させていただきながら、「チームワーク」と「出会い」を大切に、引き続きロータリーを学んで参りたいと存じますので、何卒、ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

第2回インターアクト委員会及び台湾研修について顧問教諭との会議

インターアクト委員会 委員長
吉谷 奈艶子 (高岡北RC)



10月15日(日)第2回インターアクト地区委員会と台湾研修の引率について顧問教諭との会議を開催いたしました。

台湾研修旅行に21名の参加申し込みがありました。引率の先生には、今後の事業の継続のためにも、次年度以降での事前研修を担うことを含めてお引き受けいただきたい旨を地区委員会で決定いたしました。

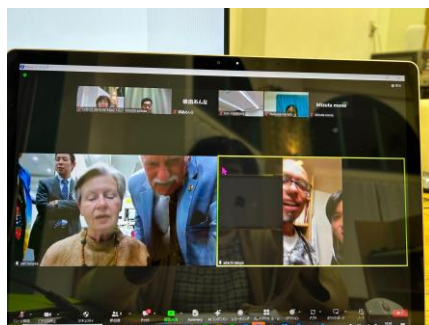
その後の顧問教諭との会議では、生徒が参加する高校の方々にお集まりいただきました。これまでの事前・事後研修内容の詳細をお伝えし、改めて地区委員会から引率のお願いを申し出ました。お引き受けいただいた先生には、台湾研修旅行への派遣願いを出して進めてまいります。

10月22日(日)の地区大会では、インターアクターも登壇し、ひとりひとり自己紹介をしました。続いてインターアクトの活動について紹介し、高校生が自律に向けた活動として、もっとインターアクトが増えて活性化してほしいとの思いから、スポンサークラブのご理解とインターアクト校の提携をお願いいたしました。地区としてのインターアクト旗の初お披露目も叶いました。

10月28日(土)は3月にオーストラリア研修旅行でお世話になったケントハーストロータークラブが、設立50周年を迎え式典を開催される機にあわせ、姉妹クラブの富山みらいロータリークラブさんのご厚意により、ZOOMでのオンライン交流会が実現できました。

オーストラリア研修旅行に参加した生徒が、ホストファミリーに自分の家族を紹介したり、ギターを見せたりと、笑顔溢れる再会に胸が熱くなりました。

このオンライン交流会実現のために、現地との連絡や采配など、たくさんお世話になった富山みらいロータリークラブさんには、心から深く感謝申し上げます。



第2回ロータリー財団委員会

2023年11月11日（土）、ANAクラウンプラザホテル金沢にて第2回地区ロータリー財団委員会を開催しました。原ガバナーのご挨拶に続き、大橋ガバナーエレクト、小山ガバナーノミニーからもご挨拶をいただき、協議に移りました。

いくつか重要な事項が協議されましたが、ここではグローバル補助金プロジェクトにおける地区財団活動資金（DDF）の利用についてご報告をいたします。

グローバル補助金の資金源として地区財団活動資金（DDF）を使用することができます。この地区財団活動資金（DDF）の使用額に応じて国際財団活動資金（WF）から上乘せられるのですが、世界各国でのグローバル補

助金プロジェクトの増加などの理由で需要が高まり、2020-21年度に国際財団活動資金（WF）が枯渇の危機を迎えました。そのようなこともあり、もともとグローバル補助金プロジェクトは条件が多くハードルが高かったのですが、ここ数年は審査が厳しくハードルがさらに上がり、財団本部の承認に向けて多くの時間と労力を要するようになってきております。地区財団活動資金（DDF）を有効に利用するためにはグローバル補助金プロジェクトを実施していただくのがベストであり、第2610地区の地区財団活動資金（DDF）を使っていただきやすくなるよう規定を見直すこととしました。具体的には以下の通りです。



国際ロータリー第2610地区

グローバル補助金プロジェクトにおける地区財団活動資金（DDF）利用規定

- ・グローバル補助金申請の前年度の会員一人当たりの寄付額が年次基金150ドル、ポリオプラス基金30ドルを達成している。
- ・グローバル補助金の代表提唱者であること、または、プロジェクトの立案から申請、実施、報告まで、すべてに深く関わること。
- ・プロジェクト総額の1/10以上をクラブから現金で拠出すること。
- ・地区財団活動資金（DDF）の利用限度額はプロジェクト総額の1/2までとする。

【留意事項】

※プロジェクトの立案に際しては地区ロータリー財団委員会に補助金申請前に事前に相談すること。また、「グローバル補助金 授与と受諾の条件」を読んでおくこと。

※他地区の地区財団活動資金（DDF）利用や他クラブからの現金拠出など積極的に協議すること。

※グローバル補助金の申請はMy Rotaryからクラブで行うこと。

※地区財団活動資金（DDF）利用額は、プロジェクトの内容、地区全体の地区財団活動資金（DDF）の利用状況、プロジェクトの資金調達状況などを鑑み、地区ロータリー財団委員会で協議の上、ガバナーが決定する。

是非、グローバル補助金プロジェクトを立ち上げ地区財団活動資金（DDF）の利用をご検討ください。

引き続き、地区ロータリー財団委員会をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団学友会報告会・交流会

村本 暢之 (金沢香林坊RC)



11月11日（土）ANAクラウンプラザホテル金沢で、ロータリー財団学友会報告会・交流会が行われ、7名のロータリー財団奨学生の学友、および、原勉ガバナー、大橋聡司ガバナーエレクト、小山英一ガバナーノミニーをはじめ、地区副幹事、地区ロータリー財団委員会メンバーが出席し、交流を深めました。

今回出席の学友は、11月25日、26日に行われる「第12回日本ロータリー学友会全国総会」で震災支援～浜通りの小中学校への図書寄贈プロジェクト～について発表される栗田ゆかりさん（バーバリアRC・ドイツ）、アメリカへ留学してからそのままアメリカの大学にて教鞭をとり、2019年に帰国し東京大学グローバル教育センターで特任講師をされている神島智子さんなど国際的に活躍されている方や、当時の経験をいかし都内でコンサルティング会社に勤めている方、通訳案内士の資格を取りフリーでツアーガイドされている方、地元で一般企業の秘書をされている方、小中学生に音楽を教えている方、設計事務所を営み自らロータリアンになった方など、年齢、お住まい、職種などバラバラでとても多様性にあふれていました。

恒例のスピーチタイムで当時のいきさつやエピソード、近況の報告を楽しく披露していただき、またおいしい食事をいただきながらテーブルごとに会話を弾ませたりであっという間に2時間が過ぎ、来年の再会を誓いあってお開きとなりました。

ロータリー財団の学友会には、財団親善奨学生、GSE（研究グループ交換）、グローバル補助金による奨学生として当地区から派遣された方々が所属し、その方々の帰国後の交流を助ける役割を地区財団委員会では行っております。みなさんから預かった大切な資金を奨学金として給付した方々は、あらゆるところで活躍しています。すこしでもその方々がロータリーを思い出してくれるように、親しみをもって今後も活動いただけるように、引き続き学友会を支援していきたいと思っております。

< 審議会とは >

審議会はクラブや地区が制定案・決議案を提出することによって、ロータリーの組織運営にクラブの声を反映させる機会です。審議会には「規定審議会（COL）」と「決議審議会（COR）」があり、それぞれに役割が定められています。

- 1 規定審議会は3年毎にシカゴで開催され、RI組織規定の改正を審議します。RI定款は3/2以上、RI細則とクラブ定款は過半数で採択され、採択されると7月1日から施行されます。（次回は2025年4月に開催され、本年12月末が制定案提出期限です）
- 2 決議審議会は毎年WEBで開催され、RI理事会、TRF管理委員会に対する要請事項を審議します。過半数で可決され、RI理事会、管理委員会は対応を決定してガバナーに通知します。（今回は11月4日が投票の締切で11月10日に結果が公表されました）
- 3 投票するのは各地区の代表議員1名で、万が一の場合の為に補欠議員（当地区では柳生PDG）が選任されておりその務めを果たすことになっています。

< 今回の投票の具体例 >

今回の決議審議会には26の決議案が提出されました。うち12は日本のクラブ・地区が提出したものです。My Rotaryで確認することが出来ますが、当地区でもグローバルな視点に立ってこのような決議案を提出できるよう力を蓄えものです。それではいくつかの決議案について、内容と私見ですが解説をしたいと思います。

- ・決議案23R-25 「RIのプロセス改善とコスト削減に対する定期的な現状報告をするようRI理事会に要請する件」 はい373 いいえ56 採択

2022年の規定審議会の制定案では「5年間の財務見直し」を根拠に人頭分担金の大幅増額が決定された。RI理事会の提案の制定案22-46「人頭分担金を増額する件」の審議は、賛成285、反対205で可決されたが、反対票が41.8%にも達しておりこれを過小評価するべきではない。本件審議が紛糾した理由を考慮して、RI理事会は「5年の財務見直し」にあるプロセスの改善とコスト削減のための実施案を、年に1度全クラブおよび地区代表議員に報告し説明責任を果たすべきである。

- ・決議案23 R-09 「地域化の試験的プログラムの目的と実施方法を詳細に説明することを検討するようRI理事会に要請する件」 はい348 いいえ74 採択

2022年の規定審議会で採択された、RI細則14.030「試験的プログラムを通じた監督」の規定に基づいて、RIBIおよび/またはオーストラリアまたはニュージーランドを含むゾーンの内にあるクラブで、試験的プロジェクトをおこなうことになった。（※注 2030年頃までにRIが確立しようとしている流れにある「ロータリーの未来形成(SRF)」は、現在のガバナー制度の見直しを含むロータリーの新しいガバナンスモデルのための試験的プロジェクトを実施しています）しかし、その試験的プロジェクトの目的や具体的な実施方法が細則の中で具体的に示されているわけではないので、不明な点が多い。それゆえこの試験的プロジェクトが、現在のガバナー制度に与える影響についてさまざまな疑問を生じている。よって、RI理事会に地域化の試験プロジェクトの目的と実施方法を詳細に説明することを検討するよう提案する。

審議会についての報告 2 / 2

- ・ <私見を含む見解> これらの2つの決議はRI理事会が実施あるいは実施しようとしている案件について会員やクラブに対しての説明が不十分だとしてRI理事会に説明を求める決議案であり「はい」と賛意を示す投票が多いのもうなずける。
- ・ 決議案23R-02 「クラブ協議会をガバナー公式訪問と同時に開催するよう奨励することを検討するようRI理事会に要請する件」 はい74 いいえ350 不採択
現在多くの地区では、ガバナーが公式訪問を行う前にガバナー補佐がクラブ協議会に出席している。しかしガバナー補佐は地区内の執行権限がなく協議会では遠慮があるようにも見える。クラブ協議会の日程をガバナー公式訪問の日程に合わせることで、ガバナーはその責務を十分に果たす機会を得ることができ、また、その会合を関係者にとってもより実り多いものとするができる。
- ・ <私見を含む見解> ガバナー補佐がガバナーの公式訪問の前にクラブを訪問しクラブ協議会に出席するのは、ガバナー公式訪問の前に、クラブの現状を確認しガバナーに報告するためと理解しています。万一不都合な事例が見られた場合には、調査の上、公式訪問の際にガバナーから直接改善を求められることになると考えられます。また、ガバナー補佐訪問はガバナーの責務軽減の観点から定められた経緯もあり、本議案はその流れからも逆行するもの（良い悪いではなく、どちらの方がメリットが大きいかという観点から）でもあるとも考えられ、支持を広げることができなかったのではないかと推測します。
- ・ 決議案23-R23 「ロータリー財団章典の第25.010.4項を改正し、地区ロータリー財団委員長の任期を3年から2年に短縮することを検討するよう管理委員会に要請する件」 はい80 いいえ347 不採択
現在地区ロータリー財団委員長は3年以内の任期で任命されその任期中に就任する予定の3名の地区ガバナーによって合同で任命される。しかし、多くの地区では委員長の任期の3年目に正式に就任が予定されるガバナーが、その年度の12月31日までに選出されていないという現実があり、実質2名のガバナーのみによって任命されている。このためRIの現行手続きの限界に留意して、地区ロータリー財団委員長の任期を3年から2年に短縮し、この2年任期の各年度のガバナーによって委員長が任命されることを提案する。
- ・ <私見を含む見解> 確かにガバナーがロータリー財団委員長を任命する観点から見れば提案も正当なことではあるが、それよりも継続性を考えた場合、3年任期制の方が優先すると考えられ支持を広げることができなかったのではないかと推測します。
- ・ これらの他、決議案23R-18「核兵器禁止条約を支持することを検討するようRI理事会に要請する件」という決議案がありましたが、平和の重大性もさることながら、政治的なメッセージは好ましくないとの観点からか、はい189いいえ237で不採択となりました。

<今後のスケジュール>

決議審議会は2025年まで毎年開催されますが、2026年度に開催される規定審議会に向けての制定案の提出期限は、今年の12月末です。日本のクラブや地区からもいくつかの提案が予定されております。今回は決議案の具体的な内容を含め、審議会の説明を加えて報告とさせていただきます。

クラブ創立50周年記念式典のご報告

創立50周年実行委員会事務局長
加藤 明博 (小矢部RC)



第2610地区 小矢部ロータリークラブ 創立50周年記念 2023. 10. 29

私たちのクラブは、1974年6月18日高岡西ロータリークラブ様のスポンサーにより創立を見て以来、50周年を迎えるに至りました。お蔭様で2023年10月29日(日)「クロスランドおやべ」にて、原勉ガバナーをお迎えし記念式典を開催させていただきました。

当クラブの藤田淳二会長が示された50周年メインテーマ『感謝の50年・輝く未来へ!』のもと、実行委員会の組織を作る段階で、先ず谷崎正則実行委員長が出された第一の基本方針は

[全員で考え、全員で行動する!・・・全員で創り上げる50周年にしよう!!]
というものでした。

[全員で・・・]を合言葉に組織された各部会(受付設営部会・式典部会・祝賀部会・記録部会)では、部会長を中心として、各部会内での打合せ・部会長会議・執行部会・全体会という話し合いを繰り返しさせていただきました。各部会長の皆さんには多くの時間と労力を割いていただき、まさに頭の下がる思いでした。その話し合いの中から[全員で・・・]という想いは確実に実ってきたと思います。



今回の式典の中でも、例えば・・・

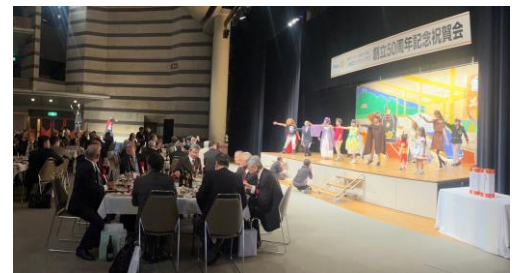
- ◎式典開催前のお茶会(アートハウスおやべにて)
- ◎オープニングロール[感謝の50年・輝く未来へ!]の映像
- ◎小矢部市への[おもしろ自転車]の寄贈
- ◎記念事業として 鼎談
(新田富山県知事・桜井小矢部市長・藤田小矢部RC会長)の開催
- ◎記念事業として [ヤマモト万歳]お祝いコンサートの開催

祝賀会の中でも・・・

- ◎馳石川県知事の招待
- ◎アトラクションとして [めるへん劇団]興行
(めるへん劇団の団長は当クラブ会員であり、また会員の多くが劇団員として参加しています。)

等々、様々な内容が会員の提案で実現できました。会員それぞれの頑張りを誇りに思うと同時に、やさしく見守っていただいた皆様に心から感謝をいたします。

50周年を機に、皆さまの役に立てる団体となれるように会員一丸となって更に努力してまいります。本当にありがとうございました。



行事予定（12月・1月）

2023年11月末日現在

日時	行事予定	場所	備考
12月 <経済と地域社会の発展月間・米山月間>			
2日	第4回地区ロータリー米山記念奨学会委員会	ホテル金沢	15:00~15:30
	面接官オリエンテーション		15:30~16:00
	米山年末懇親会		17:00~19:30
3日	第12回全国RYE・CMC合同会議 全国危機管理委員長会議及び全国青少年交換委員長会議	AP日本橋+ZOOM	13:00~16:30
6日	第15回RIJYEM常任委員会	大阪高槻市	
9日	米山奨学生面接試験（石川）	ホテル金沢	10:00~17:00
10日	米山奨学生面接試験（富山） 選考会（16:15~）	富山電気ビルディング	13:30~16:00
13日	第2回地区社会奉仕小委員会	ANAクラウンプラザホテル金沢	18:00~
16日	第3回地区インターアクト委員会及びインターアクト台湾研修旅行第1回事前研修会	金沢リファーレ	11:00~16:30
16-17日	第2回地区国際青少年受入交換学生及び派遣予定交換学生合同オリエンテーション（1泊2日）	金沢リファーレ	14:00~
24日	第1回次期地区委員長連絡会議及び第2回次期ガバナー補佐会議	黒部市芸術創造センター セレネ	13:45~20:00
1月 <職業奉仕月間>			
7-11日	(日)~(木) 国際協議会	米国フロリダ州オーランド	
21日	(日) 地区戦略計画策定会議	黒部市宇奈月温泉	
27日	第3回地区ロータリー財団委員会	ホテル金沢	13:30~15:30
	R財団地区補助金管理セミナー		
	グローバル補助金奨学生面談会（予備日）		
28日	(日) 第6回全国RA委員長-地区代表合同会議		
中旬	地区国際青少年オーストラリア交換留学生（2024-2025）の来日 成田空港に到着の場合は出迎え		
下旬	地区国際青少年オーストラリア交換留学生の来日オリエンテーション		
下旬	地区国際青少年交換委員会会議		

会員数報告

国際ロータリー第2610地区会員報告（2023年10月分）

2023年10月末日現在

グループ	クラブ名	会員数			女性会員		
		期初	月末	増減	期初	月末	増減
富山第1グループ	朝日	20	20	0	2	2	0
	黒部	9	9	0	4	4	0
	黒部中央	24	24	0	4	4	0
	入善	4	7	3	0	0	0
	宇奈月	23	26	3	1	2	1
	魚津	20	20	0	1	1	0
	魚津西	22	23	1	4	4	0
	7 R C	122	129	7	16	17	1
富山第2グループ	越中八尾	21	21	0	1	1	0
	上市	21	21	0	4	4	0
	立山	13	13	0	1	1	0
	富山	96	109	13	3	4	1
	富山シティー	74	75	1	0	0	0
	富山南	54	59	5	0	0	0
	富山みらい	74	82	8	11	12	1
	富山中	49	51	2	5	6	1
	富山西	67	67	0	0	0	0
	富山大手町	46	52	6	5	4	-1
10 R C	515	550	35	30	32	2	
富山第3グループ	射水	33	31	-2	1	1	0
	東となみ	16	16	0	1	1	0
	新湊	40	40	0	2	2	0
	新湊中央	9	10	1	1	1	0
	高岡	76	77	1	2	2	0
	高岡万葉	63	63	0	1	2	1
	砺波	42	47	5	4	4	0
7 R C	279	284	5	12	13	1	
富山第4グループ	氷見	34	35	1	4	4	0
	氷見中央	14	13	-1	1	1	0
	南砺	41	44	3	2	3	1
	小矢部	38	38	0	4	4	0
	小矢部中	43	43	0	0	0	0
	高岡北	32	32	0	3	3	0
	高岡西	43	45	2	4	4	0
7 R C	245	250	5	18	19	1	

RAC名	会員数			女性会員		
	期初	月末	増減	期初	月末	増減
南砺	2	2	0	1	1	0
砺波	2	2	0	0	0	0
金沢東	2	12	10	0	1	1
金沢	8	9	1	2	2	0
小松	1	2	1	0	0	0
金城大学	10	13	3	6	9	3
6 R C	25	40	15	9	13	4

グループ	クラブ名	会員数			女性会員		
		期初	月末	増減	期初	月末	増減
石川第1グループA	河北	16	16	0	0	0	0
	河北南	29	29	0	2	2	0
	金沢	119	127	8	0	2	2
	金沢東	101	103	2	7	7	0
	金沢香林坊	104	103	-1	0	0	0
	金沢南	48	51	3	3	3	0
	6 R C	417	429	12	12	14	2
石川第1グループB	白山	31	34	3	5	5	0
	白山石川	40	39	-1	5	5	0
	金沢百万石	38	37	-1	14	14	0
	金沢北	40	40	0	4	4	0
	金沢みなと	51	51	0	8	8	0
	金沢西	40	40	0	7	7	0
	野々市	41	40	-1	6	6	0
	7 R C	281	281	0	49	49	0
石川第2グループ	加賀	74	75	1	6	6	0
	加賀中央	23	24	1	8	8	0
	加賀白山	24	24	0	2	2	0
	小松	49	50	1	6	6	0
	小松東	29	32	3	4	4	0
	小松シティ	32	31	-1	4	4	0
	能美	51	51	0	1	1	0
	山中	15	17	2	0	0	0
8 R C	297	304	7	31	31	0	
石川第3グループ	羽咋	28	29	1	0	0	0
	中能登まほろば	12	12	0	0	0	0
	中島	8	8	0	0	0	0
	七尾	42	44	2	0	0	0
	七尾みなと	45	46	1	2	2	0
	志賀	21	25	4	2	2	0
	富来	13	13	0	1	1	0
7 R C	169	177	8	5	5	0	
石川第4グループ	穴水	12	14	2	2	2	0
	能都	38	38	0	2	2	0
	珠洲	17	17	0	0	0	0
	内浦	17	18	1	2	3	1
	輪島	29	29	0	3	2	-1
5 R C	113	116	3	9	9	0	
64 R C 合計	2438	2520	82	182	189	7	

R財団 寄付者

使途指定寄付			
クラブ	寄付名称	氏名	日付
金沢	ポリオ	中村 哲郎	10月24日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
クラブ	氏名	日付	回数
射水	竹本 伸生	10月10日	1回
野々市	上田 一治	10月25日	7回

ポール・ハリス・フェロー		
クラブ	氏名	日付
魚津	茶谷 勝	10月26日

チャリティーランチ実施による ロータリー財団寄付(ポリオプラス)のお礼

ガバナー公式訪問時のお願いとして、各クラブにご協力いただいた標記のロータリー財団への寄付についてですが、全てのクラブ様にご賛同いただき見事実現することができました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

会員数によって金額は様々ですが、こうした小さな努力の積み重ねが、実は最も大事であると確信しております。

国際ロータリーの目標の一つであるポリオ根絶に向けて、これからも会員お一人お一人のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ガバナー 原 勉

R米山記念奨学会 寄付

米山功労者 メジャードナー			
クラブ	氏名	日付	回数
富山みらい	林 和夫	10月24日	51回
高岡	山本 毅	10月24日	36回

米山功労者 マルチプル			
クラブ	氏名	日付	回数
富山みらい	打出 孝彦	10月25日	5回
白山石川	織部 資子	10月11日	3回
能美	長高 郁夫	10月31日	7回
	北川外志雄	10月31日	5回
	中野 和則	10月31日	3回
	越野 明	10月31日	3回
七尾	津田 文雄	10月24日	4回

米山功労者			
クラブ	氏名	日付	回数
富山中	永井 克行	10月26日	1回

入会

クラブ	氏名	日付
富山みらい	保田 俊行	10月10日
	森田 照彦	10月17日
	村田 寛	10月17日
	瀬戸 博之	10月17日
富山大手町	大崎 紳矢	10月 2日
	林 秀明	10月 2日
砺波	松平 智	10月16日
羽咋	矢野 亮	10月 5日
七尾	安田 佳史	10月27日

退会

クラブ	氏名	日付
新湊	矢野 正人	10月30日
金沢香林坊	遠藤 健司	10月 2日
金沢南	杉浦 史郎	10月31日
野々市	舟元 英一	10月31日
加賀白山	泉 勝幸	10月31日
	ラビンダー シング	10月31日
小松東	新谷 竜雄	10月31日
小松シティ	鈴木 隆史	10月31日
七尾	本江亜珠佳	10月 1日